

ひる くら
昼なのに暗いってどんなだろう？

たいよう でんき け
太陽があたらないところで、電気を消してしまうと？
そんなところで、なにかをしたことってある？

あか くら
いつも明るいところにいるとしたら、暗いところでは、
たいへんなことっていっぱいあるのかな？
まわりのものはちがって見えるのかな？

2005年国立国際美術館

子どものためのワークショップ

「ひるまのくらやみ」

2005年7月30日（土）午後1時半～午後4時半

B1F 講堂にて

講師：ミロスワフ・バウカ

（「転換期の作法」展出品作家）

このワークショップでは、

ひるま たいよう けいこうとう ひかり くら
昼間になのに、太陽もない、蛍光灯のような光もない、暗いところで、
え か ねんど 絵を描いたり、粘土でいろんなかたちを作ったりします。

もちろん、まっくらじゃなくて、小さなあかりで照らしながら・・・。

どんなあかりかは、きてのおたのしみ。

おおむかし ひと くら あな なか すこ かべ え か
大昔の人たちも、暗いほら穴の中で少しのあかりだけで壁に絵を描きました。

みんなも、バウカさんと一緒に挑戦してみよう！

ミロスワフ・バウカ

バウカさんは、ポーランドうまれの作家です。ポーランドという国は、ヨーロッパのまん中にありますが、なんども戦争を経験し、国がなくなってしまったこともあります。バウカさんは、今でもポーランドに住んで、自分たちの歴史、今の暮らしを考えながら作品を作りつづけています。

2005年 国立国際美術館
子どものためのワークショップ

中学生対象

「聞く、触る、感じる、嗅ぐ・・・理解する」

2005年7月31日（日）午後1時半～午後4時半

B1F 講堂にて

講師：ラクネル・アンタル

（「転換期の作法」展出品作家）

ちょっとだけ、みんなのまわりにあるものを、見渡してみて。

誰かが、それが、どんなものか、どんなふうになってるか、

教えてほしいって言ったら、どうする？

目に見えたとおりに、説明しちゃうんじゃないかな？

わたしたちは、目で見て、ものを「わかってる」と思っていることが多いかも。

このワークショップでは、

ものを「理解する」ってどういうことなのか、みんなで考えてみます。

聞いて、触って、感じて、においをかいだ・・・、

それで、どうだったか、ことばで表わしたり、絵に描いたりしようと思います。

今までとはちがったアプローチで、ものにせまってみよう！

●ラクネル・アンタル

ラクネルさんは、ハンガリー生まれの作家です。今回のワークショップのように、ラクネルさんは、目に与えられた刺激を脳を通して記録する視覚よりも、触覚や嗅覚など、身体に直接的に生じる感覚を大事にしています。ラクネルさんの作品の中には、この考え方によってつくられた作品が多くあります。



往復はがきでお申し込みください。はがきに、1) 住所、2) 氏名（ふりがな）、3) 電話番号、4) 学校名、5) 学年、6) 希望ワークショップ名、7) 保護者が参加を希望される場合は保護者氏名、8) どのようにワークショップ情報を得られたか、をご記入の上、下記宛先までお送りください。

締め切り 7月22日（金）必着

宛先 〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55 国立国際美術館
「子どものためのワークショップ」係まで

定員 「ひるまのくらやみ」 - 25名（先着順）
「聞く、触る、感じる、嗅ぐ・・・理解する」 - 20名（先着順）
*ご参加の可否は、後日はがきにてお知らせします。

対象 「ひるまのくらやみ」 - 小学1年～6年生とその希望する保護者
「聞く、触る、感じる、嗅ぐ・・・理解する」
- 中学1年～3年生とその希望する保護者

参加費 無料

国立国際美術館
THE NATIONAL MUSEUM OF ART, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-55

TEL: 06-6447-4680 FAX: 06-6447-4699

<http://www.nmao.go.jp/>



沿線への交通について

●地下鉄四つ橋線肥後橋駅方面

出口より西へ徒歩約10分

●阪神梅田駅、JR大阪環状線福島駅、JR東西線新福島駅2番出口より東へ

徒歩約10分

●地下鉄御堂筋線淀屋橋駅、

京阪淀屋橋駅より南へ徒歩約15分

●JR大阪駅、阪急梅田駅より南西へ

徒歩約20分